



広 報

みとよ



笑顔の門出

三豊市成人式

三豊市公式ホームページ <http://www.city.mitoyo.lg.jp/>

2012
FEBRUARY

第74号

2

成人式記念品・
成人証書をお渡しします

平成24年三豊市成人式に出席した新成人に、記念品と成人証書をお渡しします。
住所地の各支所窓口（高瀬町は市民課）までお越しください。（代理可）

期間
2月16日（木）～29日（水）
午前8時30分～午後5時
（土・日曜日は除く）

※期間以降は生涯学習課でお渡しします。

▼問い合わせ
生涯学習課 ☎62・1113



平成24年 成人式

二十歳のつどい

691人が大人の仲間入り



1月8日、平成24年成人式がマリンウェーブで行われ、新成人691人（男352人・女339人）のうち565人が参加。旧友との再会を喜ぶとともに、成人としての決意を新たにしました。式典では、横山市長が祝辞を述べ、来賓の皆さまよりお祝いのことを頂きました。新成人を代表して藤村和樹さん（豊中町）が「成人することは、さまざまな責任が生まれること。故郷への感謝を忘れず、早く立派な大人になれるよう努力していきます」と謝辞を述べました。



福岡 侑司 さん（財田町）

他人を思いやる気持ちを持ち、今まで受けてきた恩や思いやりを、今度は周りの人や社会に返していこうと思います。新たな出会いや繋がりを大切に、新たな第一歩を踏み出します。



富田 浩一郎 さん（仁尾町）

大学生になり初めに学んだことは、良識を持って物事を判断するということです。自分の専門分野だけでなく、より広い分野の知識を得て、良識ある人間になれるよう学んでいきます。

20歳のメッセージ

ふるさと体験交流事業

ふるさと体験交流事業は、三豊市の伝承文化や農村・田舎文化を資源とする体験交流を行うことで、風化しつつある文化を呼びさまし、魅力ある地域づくりへの動きを芽生えさせようとするものです。その初めての試みとして、16人が参加して財田町で「そば打ち」と「原木シイタケ狩り」を体験しました。



▲山崎隆文さんのそば打ちを見ながら手順を確認する参加者たち



▲自分で打ったそばの味は格別



▲伸ばしたそばを好みの太さに切ります

トライアル事業

12月12日午前10時、小春日和に恵まれたこの日、財田町の「道の駅たからだの里」に、大人14人、子ども2人の16人が集合しました。ふるさと体験交流事業のトライアルとして「生活協同組合コープかがわ」とタイアップし、午前中は「そば打ち」、午後は「原木シイタケ狩り」を体験しました。主催する側も、参加された皆さんも、とにかく初めての体験です。まずは参加者に満足していただけるのか、それも特別なことはないで、できるだけ普段の

ままの状態を体験していただく、それで満足していただけるのか少し不安でした。

農村文化

スーパーマーケットなどに行く、国産輸入も含めて、一年中いろいろな果物・野菜などが売られています。それは、需要に合わせて生産したり輸入したり、つまり、市場の要求を満たす方向で、消費の拡大が起こったものだと思います。

これは、ある意味、私たちの食文化を豊かなものにしたとは思いますが、食べ物のおいしさで、旬のおいしさはどのようなものか、というような感覚を置き去りにしたとも思えます。

かつて農村には、自給自足の食文化が伝承されてきました。味噌・醤油・コンニャク・豆腐・そば・うどん・漬物など、年間を通じて、



▲そば打ちを教える山崎隆行さん

その地域や家庭ごとに、製造方法や味が伝えられていました。

今のように、何でも、いつでも揃えるということはできませんが、一番おいしい時期に、それぞれ工夫された料理を味わうことができ、仏前や神前にも供えられ、祭りや行事とともに農村文化を形成していたのではないのでしょうか。

楽しい一日

「そばがこんなにおいしいとは思わなかった」「家でも大好評でした」という参加者からの感想が寄せられました。講師は、財田町の山崎隆行さん、隆文さん親子です。山崎さんは、そば



▲シイタケを栽培する林倉建一さん

専門店を一年前から開業しています。自分でそばをまき、そば粉を挽いた手打ちのそばが評判です。

水回し・こね方・伸ばし方・切り方・ゆで方、普段あまり体験できないことで、講師の手ほどきを受けながら、手打ちそばづくりの全工程を体験しました。「切る太さはどのくらいがいい



▲シイタケを採るのは初めての経験です

いのかな」「ゆでるとこんなに太くなるとは思いませんでした」など、わいわいガヤガヤやりながら、とにかく完成しました。子どもたちも一緒にたてをすすると、そばの香りが口いっぱいに広がり、おいしさは格別です。みんな笑顔で味わっていました。

おながが一杯になったところで、午後からは原木シイタケ狩りです。スーパーで売っているシイタケは見ますが、原木から生えたシイタケはあまり見たことがありません。もちろん採ったことはありません。

原木シイタケを栽培しているのは、財田町の林倉建一さんです。手塩にかけたシイタケ園ですが、体験ツアーを快く引き受けてくれました。「全部採ったらええ」「全部持って帰ったらええ」と、人柄があらわれた言葉に甘えながら、疲れもどこへやら、あっちこっちと見つけては、もぎ採りま



▲こんなに大きいのが採れました

おすそ分け文化

「人口が減ってしまつ」とか「活気がなくなる」とか、悲観的な言葉をよく聞くようになった。「なんにも無い」とも言われます。確かに、スーパーや本屋、レストランなどは近くには無

いかもしれませんが、少し発想を変えて目を転じれば、農村には農村の、田舎には田舎の文化が息づいています。自給自足の食文化があり、季節の変化とともに旬の一番おいしい時期を知り、旬を味わう素朴な料理などが伝えられています。

自給自足の食文化は、おすそ分け文化でもあります。自分の家でできたものをおすそ分けの考え方で多くの人たちに味わっていただく。味噌であり、豆腐であり、コンニャクであり、そば・うどんであり、それは、農村が培ってきた食文化、農村文化です。それは思いもよらぬ資源であり、どこにも無い、ここにしか無い貴重な資源ではないでしょうか。

なぜ交流が定住なのか

定住が目的ではあっても、直接的な定住事業だけに取

り組んだのでは効果が先細ってしまう可能性があります。少し時間はかかっても、ストーリー性があり、その地域の歴史や文化を土台とする、魅力的な三豊市、住みたいと思う三豊市づくりに取り組む必要があります。この体験交流事業は、市の伝承文化や農村・田舎文化に着目し、それを資源とする体験交流を起こすことで、埋もれつつある、風化しつつある文化を呼び覚まし、魅力的な地域づくりへの動きを芽生えさせようとするものです。

今後は、陶芸体験・田植え体験・新米収穫体験・うどんづくりなど、参加して楽しく、それでいて何か意味のある体験メニューに取り組み予定です。三豊市にお住まいの人でも、再発見の機会にはなるのではないのでしょうか。ご参加をお待ちしています。

▼問い合わせ
バイオマスタウン推進室
☎73・3028

市議会だより

平成23年第4回 三豊市議会定例会

平成23年第4回三豊市議会定例会は、12月1日から21日までの21日間の日程で開かれました。
今定例会では、決算特別委員会に付託していた平成22年度三豊市一般会計・特別会計歳入歳出決算など決算議案14件を認定し、スポーツ推進審議会条例の制定案など24件および平成23年度一般会計などの補正予算案6件を可決しました。その他、継続審査となっていた2件の議案の撤回を承認し、請願1件を採択・意見書案1件を可決、決議案1件を否決しました。人事案件では、3件の人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。



初日には、一般会計補正予算2億4,375万円の増額補正予算案など、市長から議案の提案理由の説明があり、議案第115号国民健康保険診療所条例の一部改正については、同日原案どおり可決しました。

また、6日・7日・8日の3日間にわたり、18人の議員が一般質問を行いました。

その後、各議案の細部にわたる審査は、12日に建設経済常任委員会、13日に民生常任委員会、14日に総務教育常任委員会で所管の事項について行われました。

21日の最終日には、同日追加提案された議案も含め、所管の委員会に付託していた議案の審査結果について、各常任委員長から報告があり、次いで、少数意見の報告が行われ、採決の結果、委員長報告どおり原案を可決しました。

継続審査となっていた請願は採択し、「漁業用」を「農林漁業用」と変更した意見書案「農林漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置に関する意見書」を全会一致で可決しました。

議員提案で決議案「三豊市役所で働く臨時職員の賃金の改善を求める決議」が出されましたが、否決されました。

■平成23年第4回三豊市議会定例会 審議結果

議案第77号 議案第90号	平成22年度歳入歳出決算認定 一般会計・特別会計（地域農産物利用促進センター事業・商品券事業・国民健康保険事業・国民健康保険診療所事業・老人保健事業・後期高齢者医療事業・介護保険事業・介護サービス事業・集落排水事業・浄化槽整備推進事業・港湾整備事業） 平成22年度決算認定 水道事業会計・病院事業会計	原案認定（全会一致）
議案第101号 議案第102号	市道の路線変更	議案撤回承認（全会一致）
議案第113号	スポーツ推進審議会条例の制定	原案可決（全会一致）
議案第114号	税条例の一部改正	原案可決（全会一致）
議案第115号	国民健康保険診療所条例の一部改正	原案可決（全会一致）
議案第116号	高瀬町防災広報無線施設条例の廃止	原案可決（全会一致）
議案第117号	出産祝金条例の廃止	原案可決（賛成多数）
議案第118号 議案第126号	香川県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び香川県市町総合事務組合規約の一部変更 （三豊市・辻財産区・河内財産区・財田大野財産区・神田財産区・大見財産区・下高瀬財産区・桑山財産区・比地大財産区）	原案可決（全会一致）
議案第127号 議案第135号	香川県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う財産処分について （三豊市・辻財産区・河内財産区・財田大野財産区・神田財産区・大見財産区・下高瀬財産区・桑山財産区・比地大財産区）	原案可決（全会一致）
議案第136号	平成23年度一般会計補正予算（第4号）	原案可決（全会一致）
議案第137号	平成23年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
議案第138号	平成23年度国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
議案第139号	平成23年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決（全会一致）
議案第140号	平成23年度介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
議案第141号	平成23年度浄化槽整備推進事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
議案第142号	税条例の一部改正	原案可決（全会一致）
議案第143号 議案第145号	人権擁護委員候補者の推薦	原案同意（全会一致）
請願第1号	漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置に関する国への意見書の提出を求める請願書	採 択（全会一致）
意見書案第3号	農林漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置に関する意見書	原案可決（全会一致）
決議案第1号	三豊市役所で働く臨時職員の賃金の改善を求める決議	否 決（反対多数）

※ 議決年月日
議案第77号～90号 平成22年度歳入歳出決算認定・平成22年度決算認定（平成23年12月1日）
議案第101号・102号・115号（平成23年12月1日）、その他の議案・請願・意見書案・決議案（平成23年12月21日）

18日	17日	12日	1月	27日	22日	21日		19日	16日	15日	12月
ごみ処理問題調査特別委員会	議会広報委員会	まちづくり調査特別委員会	建設経済常任委員会	三豊総合病院企業団議会	三観衛生組合議会	定例会	全員協議会	議会運営委員会	議会行財政改革調査特別委員会	議会行財政改革調査特別委員会	議会

人事案件については、次のとおり同意しました。

人権擁護委員（敬称略）

柚本 計悟（詫間町詫間）
奈尾 礼子（高瀬町上麻）
建林 伊都子（三野町大見）

川崎 秀男 議員

ごみ処理施設の設置場所の
地元対策について

問 「ごみ処理方式はトンネルコンポスト方式、運営方法は民設民営を基本とする」となっているが、市として地元説明以外に具体的な地元対策、例えば交通、防災、良好な自治会環境の形成など、必要な予算を組んで対応する用意があるのか。

答 処理方式をトンネルコンポスト方式、運営方法を民設民営を基本とする提案を9月28日の特別委員会承認いただき、今ごみ処理業務委託候補者の公募を行っているところである。委託業者の選定が終われば、設置場所の検討を行うが、市民の家庭から出されるごみは、処理によってごみの性状が変化するまでの間は、排出責任者である三豊市の責任であると認識しており、地元説明、必要なものは予算化を行い、市議会に提案し、決定していただきたいと考えている。

横山 強 議員

可燃ごみについて

問 18年度から22年度の家系系可燃ごみ排出実績を問う。

答 18年度と比較すると22年度は1,756トン減少した。

問 22年度の段ボールコンポスト方式やEM菌方式による生ごみ減量化の実績を問う。

答 生ごみ減量化モニター事業の実績として、3カ月間の推定処理量は、段ボールコンポストで約4.6トン、EM菌で約3.7トンが処理されている。

問 24年度は、段ボールコンポストやEM菌事業の募集件数を増やし、家庭系生ごみの減量化に向け、積極的に取り組んではどうか。

答 24年度のモニター事業は、引き続き参加者の増加を図っていききたい。

問 24年度の段ボールコンポスト・EM菌方式による家庭系生ごみ減少に向けての取り組みと事業予算は。

答 モニター事業を継続し、一人でも多く、また各種団体に広く普及啓発を図り、積極的に募集の機会を設けたい。

西山 彰人 議員

市民の意見反映について

問 学校の統廃合、給食センターの2力所化、出産祝い金の廃止やごみ処理問題について、市民の声が届いていない。特に、「学校の統廃合は、地域の理解が得られるまで実施しない」との教育委員会の考えや、学校給食について、「単独校の方がおいしい」として復活している町があるなどの事実が知られていないが、市長の考えを問う。

答 情報公開の重要性は理解している。広報紙、無線放送、対話集会、市民の各種会合への参加などでご意見を拝聴している。特に、議会での議論や懇談は間接民主主義の大切なところと思っている。

職員の処分手続きについて

問 職員の懲戒免職処分があった。処分手続きは適法に行われたと思うが、懲戒審査委員会に弁護人を同席させたのか問う。

答 職員の不祥事があったことをおわびする。弁護人の同席はさせていない。

前川 勉 議員

法定外公共物の管理

問 不法占有や不法利用があり、荒れ放題の法定外公共物が散見される。現況確認が条例どおりされていないのは、利害関係者の意識低下や行政組織の縦割りの弊害および行政の怠慢ではないのか。

答 台帳がなく14条地図で代用管理している。所管違いはよくあり、今後気をつけたい。適正管理は実情に合った対応を基本に、地域関係者に再度お願いしていく。

トンネルコンポストの問題点

問 一般廃棄物は肥料化し、残渣を固形燃料化するという当初のコンセプトや処理フローを変え、全量固形燃料としたのはなぜか。実例がなく、法的・科学的根拠に基づかない、民設民営の倒産リスクを抱える方式で問題はないのか。

答 この方式の行き着く先の部分は、まだ完成形でなく改良が必要である。失敗すれば委託をやめる。市にとって、最大のリスク回避は民設民営である。

市政に対する一般質問

12月定例会の一般質問は、12月6日・7日・8日の3日間行われ、市政全般にわたる諸問題について18人の議員が質問しました。

*質問順に掲載（原稿は質問者本人が書いています）

浜口 恭行 議員

地デジの難視聴地域について

問 市内の地デジ難視聴地域について、特に難視聴の多い庄内・栗島などの今後の対応は。

答 現在、難視聴地域については、デジタル放送推進協会や地元放送局が住民の方のご意見をお伺いしながら、どのような方法で恒久的な対策が可能か協議を進めている。市としても、いち早く対策が完了していただけるよう、強く要望していきたい。



小規模特認校について

問 市内一円をフリー校区とする「小規模特認校」を、曾保・庄内2校区の小学校に指定できないか。

答 小規模特認校については、保護者の説明会を持っていただけたら、その特徴と特性を併せて話しながらご説明させていただきたい。

ただ、教育委員会の基本方針についての考え方については、引き続きご理解いただきたいと思っている。

近藤 久志 議員

情報通信基盤の整備を

問 県では香川創造プランが策定され、県民の暮らしや産業を支える基盤として「27年度には超高速ブロードバンド世帯カバー率100%を目指す」とした指標が示された。

答 市内の情報過疎地域間格差の解消施策として、民間通信事業者への支援策はあるのか。

答 三豊市は民設民営を基本として基盤整備の推進をお願いしており、早急に超高速ブロードバンドの基盤整備が図れるよう、関係機関に協力を依頼し補助金制度も含め支援策を今後内部で検討し、議会で議論させていただき取り残されないよう慎重に進めたい。

農業振興策について

問 三豊型農業を誘導する農業振興支援計画を策定している。

答 年々耕作放棄地が増大している。農業は三豊市の基幹産業であり、これを守り発展させる事が課題。各種計画指針の策定などを勘案し、各方面の意見を聞き進めていく。

小林 照武 議員

低地域農地へ対しての
湛水防止対策を問う

問 詫間町大新田水利塩生地農地の約20haは、過去の廃止塩田埋め立てなどの影響で三方が堰き止められた形となり、現在は大新田川を経て海側への水門排水と、塩生排水機場からの電動でのポンプ排水に頼っている。更に大型ポンプでの強制排水も考えられるが、遊水池容量との絡みもあり現実困難である。大雨時の湛水に悩まされている当該地区への対策について問う。

答 過去には隣接の浜田地区へ対して県営の小規模湛水防除事業を実施しており、当該地区へ対しても塩田埋め立て時に塩生排水機場を建設部局で整備をしている。したがって、県営なり補助事業として再度抜本的な対策を講じるにはハードルが高いと考える中で、更にポンプの能力アップを含めた諸々の調査なり検討をして何らかの対策を立てたい。

瀧本文子 議員

出産祝い金の継続について

問 第3、4、5子以上にそれぞれ20万、30万、50万円が支給される出産祝い金が、本年度で廃止になる。若年世帯の定住促進・子育て支援に大変貢献している。1人でも多く子どもを産んでもらうために、また若年世帯の経済的負担の軽減などから祝い金の継続を求める。

答 出産祝い金の廃止については、一時的な現金支給ではなく、子ども医療費無料化など子育てのニーズに広く応える施策の財源として活用することとした。

女性農業委員について

問 女性農業委員4人となり、農水省表彰を受賞。その活動状況は。

答 通常業務のほか、女性農業者の育成や営農相談の実施、地産地消を通じた食育活動など、市全域を対象に女性の目線に立った意見の反映や、女性農業者が活動しやすい環境づくりに貢献・努力している。



多田 治 議員

知名度アップの進展は

問 市の重要プロジェクトに位置付けしている『織田朱越と三豊』、『太平洋戦争と三豊』の市内外に対しての発信、テレビによる映像放映での市紹介の現在までの進展状況？

答 「坂の上の雲」で有名な秋山好古・真之兄弟や大久保謙之丞など著名人の銅像製作を手掛けた天才彫刻家を市民に広くクローズアップすることで三豊の文化人に誇りを持ち、知人等への話題が提供される。市民有志による作品集の本が自主制作で出来上がった。素晴らしい成果だ。太平洋戦争については体験談集策定委員会を設置して、聞き取り取材の方針や原稿作成の方法について協議し180人の遺族会の情報提供により全国的にもほとんど例をみない体験談集が着々と進んでいる。映像製作は20分間の市の紹介、イベントやグルメ情報を「Mのツボ」と題して5分間映像を20本製作し、西日本放送、ケーブルテレビで放映している。

岩田 秀 樹 議員

高い国保税 一般会計の繰り入れで値上げ中止を！

問 国保法ができた時、国保世帯の職業は農業・自営が主体から現在は、無職・アルバイトが7割を占め平均所得が低下。国保会計の危機は、国が負担を医療費の45%から医療給付費の50%に変更し、以降次第に縮小している。現在、国保収入に占める国庫支出金の割合は22・9%。国・県の「国保」に対する無責任が現在を招いている。国保税の値上げは、市の責任の放棄である。一般会計から繰り入れを行い、値上げを中止し、誰もが支払える国保税にすべきである。

答 国保財政調整基金は、合併時、約11億8千万円が本年度末407万円の見込み。主因は、後期高齢者医療制度創設時、他市のように国保税の改定を行っていない。保険者の減少により国保税収も6億円程度減収となる。議会・議員の協議の後、3月議会までには決定をしたい。

藤田 公正 議員

定住促進事業について

問 2011年を振り返ると政局、市場経済、震災や欧米等の経済不安要素が重なる中で円高の進行により、企業は海外でのM&Aが加速、産業の空洞化が心配される状況である。このような中で定住促進は重要な事業、本事業の状況と今後の見通しおよび課題を問う。



答 若者の雇用促進、定住対策は重要な課題であり、どのような人生設計を描くか非常に難しい時代、そのためにも地方分権、地域主権の社会づくりが重要。市の定住促進事業は35件、3,288万円、129人の家族が住み、約7億9,300万円で補助金の24倍の経済効果が発生した。

問 定住のために地方が取り組むべき課題として、社会保険制度の中で医療問題がある。その取り組みは。

答 本市には眠れる人材がある。この方々に社会貢献をお願いしたい。

総務教育常任委員会

12月14日開催の総務教育常任委員会には、22議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁
スポーツ推進審議会条例の制定
問 スポーツ基本法35条の規定による補助金とは。

答 社会教育法に規定するスポーツ団体に対しての補助金である。

問 これまでの体育指導委員はどのような役割になるのか。

答 スポーツ推進委員となり、スポーツの推進を行う。

問 幼稚園と中学校の空調整備の工事費変更の原因は何か。

答 新年度予算編成までの期間があまりなかった時期に、設置方針が決定したため、学校の詳細が把握できなかった。

問 告発手続きだけで、弁護士への報償金を20万円支払うのはなぜか。

答 告発状を法律にのっとって作らなければならない、市では対応できないことも多くあるためである。

問 組合の積立金の処分をする場合、脱退する方が有利にならないか。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり可決した。

詫間 政司 議員

「子どもを産み育てるまちづくり」について

問 東日本大震災による津波被害や台風の豪雨被害で、このまちは全国的に見ても、自然環境に恵まれた場所であることを再認識した。女性が安心して妊娠・出産・子育てできる最適な環境にあるともいえる。この最大の特長を生かした、他のまちと峻別する「子どもを産み育てるまちづくり」ができないか。子育て支援にかかる限られた予算を、より効果的に展開する目的で出産祝い金の廃止が提案されている。この機会にあわせ、社会基盤となる市立病院の産科・小児科設置と、助産所開設の支援の考えを問う。

答 「地域医療あり方検討委員会」が、市内医療機関の役割と他市医療機関との連携のあり方、公立医療機関の担うべき役割の審議をしている。この答申を受け、市立病院の果たす役割を検討したい。助産所開設の相談などがあつた場合には、相談に応じたい。

込山 文吉 議員

防災対策の見直しを問う

問 防災基本計画の「自治体の地域性」をどう反映しているのか。また、土砂災害区域ハザードマップの作成状況は。

答 地域に潜んだ危険性を認識した計画を立てることが重要。今、三豊市でできる防災対策については順次、できるだけ早く行う。土砂災害区域は現在調査を行っており、26年度の財田町で終了。地元説明後、地区指定する。

若者定住対策について

問 三豊市在住の高校卒業予定者で、就職希望者の内定率を問う。また、市内事業所の求人状況を問う。

答 三観地域7校の三豊市在住卒業予定者412人中116人が就職希望。11月29日現在、内定者106人91・37%である。市内求人数は掌握できてない。

介護保険制度改定について

問 介護保険制度改定による三豊市の対応について問う。

答 日常生活支援総合事業は関係資料が示されていない。24年度は取り組みを見送る。

水本 真奈美 議員

成年後見制度について

問 現状と課題について問う。

答 市長申し立て後見制度は、現在24件実施している。高齢化進む状況下、民生・児童委員の相談支援を通じて、利用促進を図る。

不育症について

問 市の出生数は500人を下回り、出生率は県平均よりも低い。不育症は、検査と治療で85%は出産可能との調査結果もある。少子化対策として、検査と治療に助成の考えは。

答 広報紙などを利用し、啓発活動に努める。助成については相談状況や、国・県の動向を見て検討していきたい。

非正規職員について

問 非正規職員の賃金を物件費と計上する認識、また経費を評価した報酬改善について。

答 国へ地方財政の報告上、自治法で正規職員と区別して計上規定されている。職務経歴を評価した報酬基準の導入は考えていないが、他市や民間の状況を見据えながら、処遇改善に努めていきたい。

山本 明 議員

新ごみ処理方式「トンネルコンポスト」について

問 トンネルコンポストでは、固形燃料を製造すると思っているが。

答 私の理想も理念も、できる限り生ごみは土に返したい、できれば肥料にしたい。しかし、成分が一定にならないため、一流の肥料にはならない。ただ、肥料増量材の可能性は大いにある。しかし、家庭系の生ごみには何が含まれているかわからないという不信感を農林水産省が持っているため、1年間実証実験をしないと「うん」とは言いがたい。そこで、少なくとも1年間はそのまませざるを得ないということ、固形燃料にいかざるを得ない。1年後、2年後、それらの実施の数字を捉えて、可能である限り、肥料増量材、土に返していくということ、三豊市のごみ処理の概念としていきたい。

他に「地域の仕組み、市の仕組みについて」を質問

建設経済常任委員会

主な質疑と答弁

23年度一般会計補正予算関係部分

問 観光振興の新しいイベントが企画され、超過勤務が発生し、時間外勤務手当を補正とのことだが、超過勤務時間すべて振替対応できないのか。

答 現行制度下での振替対応は、半日または1日単位で、この単位未満の超過勤務時間は、累積できないため、時間外勤務手当を支給しなければならぬ。

問 農地費中の工事請負費、土地改良関係工事の詳細な増額補正理由は。

答 市管理農道の補修工事およびため池の改修である。ため池は、受益地のない小規模なため池1件の改修を予定。

問 緊急雇用創出基金を活用しての市道の雑木・雑草除去委託の増額補正について、その処分方法は。

答 市内2業者に委託し、焼却処分しているが、1トン当たり3万円の処分費用が掛かる。処分量も、長年手を入れ

12月12日開催の建設経済常任委員会には、付託された1議案、継続審査の1請願を審査し、1意見書案を協議した。

ていなかった箇所に着手したため量が多い上に、不法投棄されたごみの処分も発生し、処分費用の補正が必要となった。

問 道路橋りょう新設改良費から維持費への組み替えは、「用地買収や地元調整が難航した」との説明だが、見通しがついた上で当初予算に計上したのではないのか。

答 相続問題や境界確定に時間がかかり、工事に入ることができなかった。測量から工事まで1年という工程は実態を踏まえ見直していきたい。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり可決した。

「漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置に関する国への意見書の提出を求める請願書」は採択し、「漁業用」を「農林漁業用」と変更し「農林漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置に関する意見書（案）」を本会議に提出することとなった。

金子 辰男 議員

鴨田 偕 議員

三木 秀樹 議員

民生常任委員会

12月13・21日開催の民生常任委員会には、8議案が付託され審査した。

特別会計について

問 22年度の歳出決算総額は、一般会計の約289億円に対し、11の特別会計約166億円、2つの公営企業会計約34億円と、広い意味での特別会計は200億円に達し肥大している。各特別会計の赤字補てんをどう捉え対処しているのかを問う。

答 社会経済情勢の推移にかんがみ、特別会計の健全化を促進している。また、経費削減や歳入の確保により、赤字補てんが解消されるよう努めているものの現状は厳しく繰り出しを行っている。

問 特別会計の中で特に気になるのが地域農産物利用促進センター事業である。年々繰り入れ決算額が増加し、22年度では70万となっている。センターは、地産地消をはじめ福祉施策、学校給食と寄与してきたが赤字が肥大している。どうしていくべきか。

答 地域農産物利用促進センターの民間給食提供事業は一応役割終了を感じている。できるだけ早く休止を検討する。

24年度予算編成について

問 本市も合併5年間の行財政改革により、財政状況もよくなるとともに、ソフト事業面の子育て支援、健康福祉関係などは安定・定着してきたように思われる。しかし、本市の合併特別債の利用率は非常に少なく思われる。そこで、三豊市の将来像を描き、合併特別債を財源としたハード事業をしてはどうか市長に問う。

答 アクションプロジェクトは検討・協議中であるが、新年度までに具体化していきたい。24年度の重要なテーマは、ごみ処理施設の建設である。学校の統合問題は、合意のできた所から前倒しで進めたい。火葬場建設については、地元との協議が整い次第、基本計画・実施設計に取り組みたい。

庁舎の位置の変更について
問 庁舎の位置を豊中町本山甲201番地から高瀬町下勝間2373番地へ変更してはどうか市長に問う。

答 もう少し時間をいただきたい。今検討中である。

ごみ処理方式に関連する現在と今後の不安点を問う

問 ごみ処理について、PFでなく民設民営方式で、わが国で前例のない新技術と大きく吹聴されているが、市内のごみの60%を占める生ごみを処理できないことを当初の業者認定時に隠すような企業のごみ処理方式に不安はないのか。

市長 完全な民設民営。市は何の保証もしないし、民間がリスクをとって、自ら投資して確実なものを提示していかないと、民間は倒産リスクを負担すると思っている。

問 広報11月号に載っている7つの条件を、委託契約業者に20年以上保証させることができるのか。またトン当たり費用は2万3千円としているが公共のクリントピアル亀なら1万円だ。その焼却炉の一方が空いている。検討は。

答 検討した。行政と健全な関係を築ける業者を見出す努力が将来のためにも必要。他に「文書館」などを質問

主な質疑と答弁 討論

出産祝金条例の廃止

問 出産祝金に代わる子育て支援事業で、子育てホームヘルプ事業の利用が少ないが、他市の状況と課題は何か。

答 近隣市では丸亀市が実施しているが、状況はつかない。事業開始から少しPR不足であった。来年度に向けて検討したい。

問 ファミリー・サポート・センター事業の利用券の利用率はどうか。

答 22年度は60万円程度であった。申請により、利用券の交付を受けても、利用しないと券が残っていく。

討論

反対 市民に廃止の意見を聞くべき。条例廃止の提案がある前に広報に載せた。

賛成

・出産祝金を子どもに恵まれない方の不妊治療の助成に回すのであれば。
・全体的な子育て支援を充実するのであれば見直しがあった

てもいいと思う。

採決 賛成多数で可決されたが、少数意見の留保が行使され、議長あてに提出された。

23年度一般会計補正予算関係部分

問 現在、三豊市に生活保護者は何人いるのか。

答 10月1日現在で23世帯、322人で、増加傾向にある。

問 母子家庭等医療費増加は、制度改正で父子家庭の父も対象になったことからか。

答 7月までは800人前後であったが、父が対象になった8月以降は880人前後で推移している。

23年度国民健康保険診療所事業特別会計補正予算

問 粟島診療所への一般会計繰入金の今後の予想と対応は。

答 通年ベースで200万円程度が必要と考える。黒字に向け努力したい。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり可決した。



55年間ありがとう

しおつき けん じろう
塩月 健次郎 医師 (89歳)

昭和 23 年	岡山大学医学部卒業
昭和 25 年	岡山大学医学部第2内科入局
昭和 28 年	塩江町立塩江病院勤務 (現高松市)
昭和 30 年	詫間町立永康病院勤務 (現三豊市)
昭和 31 年	粟島診療所開設
昭和 49 年	志々島診療所嘱託医

粟島・志々島で島の医療を支えてきた塩月健次郎医師が、55年という長きにわたる医療活動に終止符を打ち、12月28日、最後の診療を終え、粟島をあとにしました。

12月28日、ひとりの医師が粟島を去りました。医師の名は塩月健次郎。55年という長い間、粟島や志々島で医療活動を行い、島の人たちを支えてきました。塩月さんが粟島での医療を始めたのは昭和31年。宮

崎県出身で、塩江町立塩江病院(現高松市)や詫間町立永康病院(現三豊市)などに勤務。島に医師がいない現状を目の当たりにし「島には絶対医師が必要」という思いから、粟島での医療活動をスタートさせました。

島の船着き場から5分ほど歩いた畑の中に、木造の診療所があります。その診療所で診療を始めたころは、医療設備がほとんどない状態で、医療機器を自費購入して、少しずつ環境を整えていきました。

また、粟島だけでなく、モーターボートで周辺の島に往診に行くなど、離島の医療を支えました。

平日は粟島で過ごし、週末には丸亀市の自宅に帰る生活が続けながら、島の人たちを見守ってきました。

赤ん坊のころから診てもらっている人も多く、親子2代でお世話になっている人も少なくありません。島の人は、みんな顔見知り。つきあいが長いだけに、顔を見るだけで体調が分かると言います。

そんな塩月さんも89歳。島の人口も、開業時と比べると10分の1の約300人まで減少し、年齢的にも潮時と引退を決意しました。



最後の診療を終えた塩月さんを見送ろうと、多くの島民が港に駆けつけ、別れを惜しみました。

「先生ありがとう」「お元気で」という感謝の言葉につつまれて、55年間の重みと思い出を胸に、塩月さんは粟島を去りました。

ほんとうに
ありがとうございました



1/2 1・2 琴の音で祝う新春祭

朝日山森林公園で恒例の新春祭が行われました。2日に行われた琴の演奏では、山全体に琴の音が響き、新年の幕開けを厳かに祝いました。



1/8 自慢のたこが大空に舞う

新春恒例のたこあげ大会が山本ふれあい公園であり、市内外から親子連れなど約50人が参加しました。この日は晴天にも恵まれ、参加者は自慢のたこを次々と大空高く舞いあげていました。



12/17 子どもの笑顔で親が幸せになれる

仁尾町文化会館で絵本作家の藤本ともひこさんを迎え、おはなし会研修講座が行われました。参加者は絵本の読み聞かせだけでなく、親子で楽しめる遊びなどで盛り上がりしました。



12/13 NHKラジオでロボコンの強さを紹介

NHKラジオの公開放送がマリンウェーブの駐車場で行われ、香川高専詫間キャンパスのロボコンチームが出演。全国大会常連校としての強さの秘密などが紹介されました。



1/12 12 ころ落ち着かせて

下高瀬小学校で恒例の書き初め大会がありました。毎年指導している増田紫保さん（書道家）の指導のもと、みんな姿勢を正し、ころを落ち着かせて書き初めました。

みとよHOT ほっとNEWS

デイリー版ほっとニュースは市ホームページで [三豊市](#) [検索](#)



1/4 栗島の診療所を開所

栗島の人々が健康保持に必要な医療が身近に受けられるように三豊市国民健康保険栗島診療所を開所しました。今後診療所には、市内の協力病院から交代で医師が派遣されます。



12/26 1年間の活動成果を報告

市内の全小・中学校、高校の代表者が集まって『第2回みとよ・ヤング・エコ・サミット』が市民交流センターで行われました。サミットでは、各学校でのエコ活動や自分たちが今しなければならないこと、共通で取り組む「スマイル アフリカ プロジェクト」「グリーン・カーテン運動」などについて、活発な意見が交わされました。



12/19 被災地へ届け！ぼくたち私たちの気持ち

大野幼稚園の園児たちが東日本大震災被災地の福島県南相馬市立鹿島幼稚園へ手作りの贈り物をしました。自分たちと同じ幼稚園の子に少しでも元気になってもらおうと、千羽鶴や花の種、拾ってきたどんぐりなどに手紙を添えて送りました。



12/16 一流の能と狂言を堪能

仁尾中学校で能と狂言の鑑賞会が行われました。ほとんどの生徒は「能は難しいもの」「分かりにくいもの」と思っていたようですが、分かりやすい説明もあり「新鮮で演技も力強くおもしろかった」と目を輝かせていました。



12/23 ステキなクリスマスコンサート

箱浦小学校児童や三豊ジュニア合唱団、県警察音楽隊などによるクリスマスコンサートがマリンウェーブで行われました。訪れた人は、かわいい子どもたちの歌声やステージいっぱいの迫力ある演奏を楽しみました。



12/17 七宝のかぜとともに

三豊市の歌フェスタがマリンウェーブで行われました。これからは「七宝のかぜ」を永く歌い続けていこうと、市内各方面で活躍されている皆さんが一堂に会して合唱やダンスなどを披露。フェスタを盛り上げました。

三豊市奨学金貸付希望者募集

貸付対象者

平成24年度に学校教育法に規定する学校のうち、高等学校の全日制・中等教育学校の後期課程・特別支援学校の高等部・大学（大学院を除く）・高等専門学校に在学する人

貸付要件（すべての要件を満たす）

- ・市内に住所を有する人（進学のため他の市町村に住所を移す人を含む）
- ・修学意欲があり、学校長が推薦する人
- ・経済的な理由により修学が困難であると認められる人（市税を完納している世帯）

選考

奨学生選考会議で決定

貸付額

・高等学校等	月額 1万円以内
・高等専門学校・短期大学	月額 2万円以内
・大学	月額 2万5千円以内

貸付期間および利息

貸付期間は、貸し付けを受ける月数を通算して、奨学生の在籍する学校の修学年限に相当する月数以内とし、無利子とする

返還

正規の修学期間が満ちた日の翌年4月から10年以内に月賦・半年賦・年賦払いにより返還

申請書類

- ・奨学金貸付申請書
- ・奨学生推薦調書

申請場所

子育て支援課または各支所（公務員の場合は勤務先）

問い合わせ 子育て支援課 ☎ 73・3016

特定不妊治療費助成事業

助成対象者（すべての要件を満たす人）

- ・市内に在住する法律上の婚姻をしている夫婦
- ・特定不妊治療以外の治療法では妊娠の見込みがないか、極めて少ないと医師に判断された人
- ・夫および妻の前年度所得（1月から5月までの申請については、前々年の所得）の合計額が730万円未満の人

助成額

特定不妊治療に要した費用のうち、県の助成額を控除した額の2分の1以内（年度上限20万円）

※原則、治療終了年度中の申請が必要です。書類作成の関係上、申請が4月になってしまふ場合は、3月中に子育て支援課までお問い合わせください。

問い合わせ 子育て支援課 ☎ 73・3016

無料でお得な健活体験

日時 3月3日（土）
午前11時～午後1時
場所 ゆめタウン三豊
三豊市展示コーナー
定員 女性先着 100人
内容 骨密度測定
基礎代謝測定 など

▶問い合わせ
健康課 ☎ 73-3014

- ・所得・課税証明書（世帯全員のもの）
- ・納税証明書（世帯全員のもの）
- ・住民票の写し（世帯全員のもの）
- ・入学許可書の写しまたは在学証明書（発行されしだい）

申し込み期限 2月24日（金）

申し込み・問い合わせ 教育総務課 ☎ 62・1110

子ども手当の申請はお済みですか

中学校卒業前までの子どもを持つ人へ

平成23年10月分からの子ども手当を受給するためには、新たに認定申請書を提出する必要があります（平成23年9月分まで受給されていた人も含む）。

申請済みの人には、2月7日に「平成23年10月～平成24年1月分の子ども手当を指定口座に振り込みます。振り込みのない人は、申請手続きができていませんので、早急に申請してください（1月20日～2月24日に申請の人は3月7日に振り込みます）。

3月30日（金）までに申請しないと、子ども手当が受け取れなくなります。

対象

平成23年9月末に中学校卒業前までの子どもを養育していた人

支給月額

3歳未満	1万5千円
3歳～小学校修了前（第1子・第2子）	1万円
3歳～小学校修了前（第3子以降）	1万5千円
中学生	1万円

申請期限 3月30日（金）

※出産・転居等での新たな申請については、15日以内に申請しなければ受給できない月が発生する場合があります。

国民年金のお知らせ

国民年金保険料の納付は口座振替がおトクです

国民年金保険料の納付には、口座振替がご利用になれます。

口座振替を利用すると、保険料が自動的に引き落とされるので金融機関などに行く手間が省けるうえ、納め忘れもなくても便利です。

また、口座振替には、当月分保険料を当月末に引き落とされることにより月々50円割引される早割制度や、現金納付よりも割引額が多い6カ月前納・1年前納もあり、大変お得です。

口座振替の前納を希望する人は、通帳、通帳届出印、年金手帳または納付書をお持ちのうえ、2月末日までに善通寺年金事務所またはご希望の金融機関窓口でお申し込みください。

もうすぐ申告相談が始まります

平成23年中に納めた国民年金保険料は、全額所得控除されます。平成23年分「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」がお手元のない人は、次の専用ダイヤルにお問い合わせください。

- 控除証明書専用ダイヤル
☎ 0570（070）117

受付期限 3月15日（木）

受付時間

- ・月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- ・月曜日は午後7時まで（休日の場合は火曜日）
- ・第2土曜日は午前9時30分～午後4時
- ・祝日は、利用できません。

問い合わせ

善通寺年金事務所 ☎ 0877（62）1660

みとよHOT ほっとNEWS



12/20～22 サンタがやってきた!

市内の各幼稚園・保育所でクリスマス会が行われ、サンタさんからプレゼントが届けられました。比地二幼稚園には、みとよ青年会議所のマスコットキャラクター「みとよんサンタ」が訪れ、子どもたちと楽しい時間を過ごしました。

12/6 やさしさ深まる世代間交流

豊中保育所の2歳児がとよなか荘でデイサービスを利用するおじいちゃんやおばあちゃんとふれあい交流を行いました。子どもたちが肩をたたいたり、足をさすったりすると「かわいい」「うれしい」とみんな顔をほころばせていました。



12/4 今年も500本のカーブミラーを清掃

毎年恒例となっている三豊市勤労協によるカーブミラー清掃が行われました。霜と汚れでミラーが見えにくくなる季節を前に、総勢16人が軽トラに分乗してミラーを磨いて回り、交通安全に一役買いました。



みとよHOT ほっとNEWS



12/18 全日本ロボット相撲全国大会で優勝

第23回全日本ロボット相撲全国大会ラジコン型（東京）で三豊工業高校2年生でメカトロ部所属の吉田勇也さん（仁尾町）が、みごと優勝。同校はこの競技で2連覇を成し遂げました。

がん検診の補充検診を実施します

平成23年度のがん検診の補充検診を、次の日程で実施します。

受診を希望した人には、茶色の封筒を送付しています。結核検診のみを受けていない人にはピンクのハガキを送付していますので受診時には必ずご持参ください。まだ検診をお申し込みでない人は健康課までお問い合わせください。

【胃がん検診 結核・肺がん検診 大腸がん検査容器の回収】

実施年月日	場 所	受付時間	
		胃がん検診	結核・肺がん 大腸がん検診
2月13日(月)	豊中町保健センター	予約制	9:00 ～ 11:00
15日(水)	マリンウェーブ		

【子宮頸がん検診 乳がん検診】

実施年月日	場 所	受付時間	
		子宮頸がん検診	乳がん検診
2月16日(木)	マリンウェーブ	13:30 ～ 14:30	予約制
17日(金)	豊中町保健センター		

※子宮頸がん・乳がん・大腸がん検診の無料クーポン券をお持ちの人はぜひご利用ください。
※65歳以上の人は、感染症予防法により年に1度は結核検診を受けましょう。

がん検診
希望申込書を
返信しましょう



平成24年度三豊市がん検診希望申込書を対象者のいる世帯にお送りします。2月24日(金)までに必ず同封の返信用封筒で返信するか、健康課または各支所までご持参ください。

ご家族で確認し、申込書の希望する検診にチェックを入れて返信してください。

健診が受けやすくなっています

- ・子宮頸がん・乳がん・大腸がん・前立腺がん検診は集団検診または医療機関検診のどちらかで受診できます。
- ・安全性を確保するため、特定健診(6～8月)とがん検診(8～11月)の実施時期が別になります
- ・待ち時間を軽減するために胃がん・乳がん検診を時間予約でご案内します。

※がん検診を希望しない人や三豊市国保人間ドック検診を希望する人は、申込書の返信は不要です。

※三豊市国保人間ドックを希望する人は、平成24年度国民健康被保険者証(平成24年3月末頒発送予定)と同封する「三豊市国保人間ドック受診申込書」でお申し込みください。

▼問い合わせ 健康課 ☎73・3014

高額医療・高額介護合算療養費制度

同一世帯内の後期高齢者医療制度、または国民健康保険の被保険者について、1年間(毎年8月1日から

要介護4または5の認定を受けている人は確定申告の障害者控除を受けられます

身体障害者福祉法による障害者認定を受けていない人でも前年の12月31日時点において、65歳以上であり要介護4または5に認定されている人またはそれと同じ程度の認定を受けられると認められる人は、特別障害者控除の対象としています。対象となる人は、確定申告の際に「三豊市障害者控除対象者認定書」が必要となりますので、事前に介護保険課または各支所で申請してください。

▼問い合わせ 介護保険課 ☎73・3017

介護合算算定基準額

70歳以上の場合		
所得区分	算定基準額 (医療+介護)	
現役並み所得者	67万円	
一般	56万円	
低所得者	II	31万円
	I	19万円

70歳未満の場合

所得区分	算定基準額 (医療+介護)
上位所得者	126万円
一般	67万円
住民税非課税世帯	34万円

翌年7月31日までに『医療』と『介護』の両方に自己負担があり、その自己負担の合算額が介護合算算定基準額(次表)を超えた場合、申請によって超えた額が支給されます。

後期高齢者医療制度の被保険者で平成22年度分(計算期間:平成22年8月1日～平成23年7月31日)の支給の対象となる人には、申請のお知らせが送付されていますので申請手続きをしてください。

(国民健康保険の被保険者で支給の対象となる人にも別途お知らせを送付します)

申請に必要なもの

- ・後期高齢者医療または国民健康保険の被保険者証
- ・介護保険の被保険者証
- ・申請者の印鑑
- ・振込口座の分かるもの(被保険者本人以外の口座への振り込みは「委任状」が必要です)

申請先

健康課または各支所

問い合わせ

健康課 ☎73・3014
介護保健課 ☎73・3017



高齢者の権利をまもる講演会

講談で学ぶ認知症



日時 3月10日(土) 午後1時～3時
場所 マリンウェーブ
講師 神田織音さん(講談師)
定員 750人

※入場整理券が必要です。入場整理券は2月13日(月)から介護保険課または各支所・各出張所・マリンウェーブで配布します。(1人3枚まで)

▶問い合わせ 地域包括支援センター(介護保険課内) ☎73-3017

みとよHOT ほっとNEWS



12/18 正月も間近でかわいい門松完成

詫間ふれあい交流館で詫間公民館第2分館主催の「ミニ門松作り」が行われました。グループに分かれ作業を開始した参加者は、葉ボタン・松・梅など10種類の木々を使い、自分だけのオリジナル門松を仕上げていきました。

12/14 たまにはゆったりとした時間を

いつも忙しくしているお母さんに、たまにはゆったりとした時間を過ごして欲しいと願って「mamaのためのすくすくカフェ」が、すくすくランドたくま広場で開催されました。おいしいケーキとお茶でママもほっと一息。



12/18 子どもに対するお父さんの思いと願い

辻幼稚園の父親参観日に県内初の「お父さんの子育てワークショップ」が行われました。日ごろ、お父さん同士で話し合うことが少ない中、子育てに対する思いを話し合うことは、たいへん有意義な時間になりました。



みとよHOT ほっとNEWS



1/13 県広報コンクールで最優秀賞

「広報みとよ」と「Mのツボ」が県広報コンクールで最優秀賞を受賞しました。広報みとよは「ページ構成やレイアウトが丁寧で特集のコンセプトがしっかりしている」と、Mのツボは「タレントを効果的に活用し、地域の人々の元気・力が表現された楽しい番組」との高い評価を受けました。



世界の豆知識 中国 旧正月の伝統行事『元宵節』

中国で、旧正月の締めくくりに行われる伝統行事について、国際交流員の楊笛さんが紹介します。



毎年旧暦の1月15日は中国の元宵節（ユェンショージェー）。これは、春節後初めての満月の日で、今年は2月6日（月）です。この日、中国では、あるものを食べる習慣があります。それは元宵（湯圓）という団子です。

元宵とはもち米の粉を原料で作った餡入りの団子で、中にはさまざまな餡が入れます。代表的な餡には、胡麻、砂糖、ピーナッツ、小豆などがあります。揚げたり蒸したりもしますが、ゆでて食べる人が多いです。

元宵を食べるだけではなく、元宵節には灯籠を飾って、邪気を追い払い、旧正月の最終日に華やかさを添えます。日本でも、横浜や神戸、また長崎の中華街では、灯籠祭りが開かれるようですね。

国際理解講座 青空キムチ作り教室 ～第2弾～

12月に開催し、大好評だったキムチ作り。韓国出身のチェさんと一緒に本場のキムチ作りに挑戦してみよう。

日時	2月26日（日）午前10時～午後1時
場所	豊中町保健センター調理室
定員	50人（要予約・先着順）
講師	チェ・ヨンジン
材料費	一般 700円 会員 500円
準備物	エプロン、持ち帰り容器
申し込み	2月6日（月）～



※室内と外の両方でキムチを漬けますので、温度調節が可能な服装でご参加ください。

▶問い合わせ （財）三豊市国際交流協会 ☎ 56-5121（火曜休館）<http://www.mitoyo.org/>

ハプチョン

陝川郡『第11回さくらマラソン大会』市民ランナー募集

日時	4月7日（土）～10日（火） 【大会は8日（日）】
コース	5km、10km、ハーフ、フル
参加資格	18歳以上の健康な人
コースの特徴	全コース傾斜が少なく、両側桜並木の中を気持ちよく走れます
行程	三豊市→陝川郡→マラソン大会→歓迎交流会→韓国国内見学→三豊市
定員	30人
費用	約8万円
申し込み期限	2月29日（水）



人員報告



功労表彰



消防操法



一斉放水

地域の安全は自らの手で守る

平成24年三豊市消防団出初式

三豊市消防団出初式が、1月8日、上高瀬小学校運動場で挙行され、団員930人、三観広域北消防署員34人、消防車両など30台が参加しました。式典では、10年・20年勤続の団長表彰や三観広域行政組合消防長表彰が授与され、30年勤続団員の家族に市長感謝状が贈られました。また、日ごろの練習の成果を発揮した消防操法や一斉放水も行われました。

田中団長は「団員一人ひとりが心身の錬磨と時代の変遷に応じた知識・技術の習得を心がけ三豊市の安全安心のまちづくりに努めます」と宣誓し、参加した団員一同は東日本大震災で得た教訓を胸に、防火・防災への決意を新たにしていました。

農家のお母さんの技術を学ぼう

（4回シリーズ）

日時	2月22日（水）午前9時～午後1時
場所	財田大野農業構造改善センター
対象	市内在住で農産加工に興味のある人
定員	先着20人
内容	みそ作り
材料費	500円
持参物	エプロン、三角布

▶問い合わせ 農業振興課 ☎ 73-3040



宗吉かわらの里展示館無料開放デー



▲いろいろな物を作ってみよう！

日時	2月26日（日）午前9時～午後5時
場所	宗吉かわらの里展示館
内容	観覧無料（展示説明ガイド有り） 粘土作品づくり（ミニ瓦・ミニ鬼瓦・土笛など）

▶問い合わせ 宗吉かわらの里展示館 ☎ 56-2301

▼問い合わせ 総務課 ☎ 73-3000

自主防災組織の結成、補助金申請の手続きは総務課までお問い合わせください。

情報収集伝達用	ハンドマイク、携帯用ラジオ
初期消火用	消火器、バケツ、ヘルメット
水防用	スコップ、ロープ、土のう袋
救出用	ボール、はしご、チェンソー、のこぎり
救護用	たんか、救急セット、テント、毛布
避難用	ライト、発電機、ガソリン缶
給食・給水用	コンロ、給水タンク、食器
その他	訓練用消火器、簡易収納庫、リヤカー

自主防災組織が防災資機材を整備する際に、購入価格の50%の補助を行っています（上限10万円）。

防災資機材には次のようなものがあります。

大災害が発生した場合、公共の防災機関は総力をあげて応急対策を行います。すべての地域に対応することは困難です。そのような時こそ、自主防災組織の力が不可欠になります。各自がバラバラに動いても個人の力には限界があり、かえって危険な場合もあります。隣近所の人と協力し合い組織的に行動すれば、より大きな力となって被害を最小限に食い止めることができます。

災害に備えて5

自主防災組織と
防災資機材整備費補助

市長も薦める
パソコン（e-Tax）での確定申告!!



観音寺税務署総務課長から「e-Tax」（国税電子申告・納税システム）の説明を受けて、デモ体験を行う横山市長

「e-Tax」は、事前に届け出を行えば、税務署に行かなくても自宅や事務所などからインターネットを通じて、申告・納税などができる電子システムです。

所得税の申告期限の3月15日（木）までは、原則として祝日などを含めて24時間ご利用いただけるので、税務署が閉まっている時間でも申告書の提出（送信）ができます。

初めて「e-Tax」を体験した横山市長は「難しいイメージがあったけれど、意外と簡単に作れました。ぜひ市民の皆さんも利用してみてください」と便利なe-Taxでの申告を薦めています。

▼問い合わせ 観音寺税務署 ☎25・2191

観音寺税務署での所得税の還付申告の受付が始まっています

医療費控除や住宅借入金等特別控除、寄附金控除などで所得税の還付を受ける人の確定申告の受付を、観音寺税務署で行っています。2月16日（木）以降は大変混み合いますので、早めの申告をお願いします。

2月のお知らせ

三豊市メール配信
サービス実施中
登録はこちら↓



募集

シルバー人材センター嘱託職員募集

■募集人数 事務局管理職1人

■勤務地 山本町

■応募資格

市内在住で昭和24年4月1日以降に生まれた人

企業団体等での管理職経験者

■申し込み期限 2月13日（月）

■提出書類

嘱託職員募集申込書、免許証の写し

■申し込み・問い合わせ

三豊市シルバー人材センター

☎63・1244

平成24年度
かがわ長寿大学受講生募集

■開講期間

4月～平成26年3月（2年制）

■開催場所

県社会福祉総合センター

■資格

県内在住で平成24年4月1日現

なお、観音寺税務署ではパソコンを使った電子申告（e-Tax）を行なっており、還付手続きが3週間程度に短縮されます。

以前、税務署で電子申告された人は「利用者識別番号」が必要ですので「重要書類在中」と記載された封筒をご持参ください。

▼問い合わせ 観音寺税務署 ☎25・2191

消費税および地方消費税（個人事業者）の
確定申告と納税は正しくお早めに！

消費税の課税事業者（平成21年分の課税売上高が1,000万円を超える事業者）に該当する個人事業者は、4月2日（月）までに平成23年分の「消費税および地方消費税の確定申告書」を作成して、管轄の税務署に提出してください。

また、納付には便利な振替納税をぜひご利用ください。

納期限：4月2日（月）
振替日：4月25日（水）

▼問い合わせ 観音寺税務署 ☎25・2191

必ずチェック 最低賃金!!

【時間額】667円

香川県最低賃金は10月5日から改定されています。給与計算の時はチェックを忘れずに。

▶問い合わせ
香川労働局賃金室
☎087-811-8919

平成24年度市民交流センター
エントランスホール利用者募集

■利用内容

絵画・書・絵手紙・ちぎり絵・写真などの展示

■申し込み方法

団体名・代表者・連絡先を電話で
■申し込み期限 2月17日（金）

■利用調整会・抽選会

2月24日（金）午後3時～

■調整会等場所

豊中町農村環境改善センター

■申し込み・問い合わせ

三豊市公民館 ☎62・1156

平成24年度
離島人材育成基金助成事業募集

■対象

離島に在住または離島で活動している団体等

■対象事業

- ・産業振興事業
- ・生活・文化・福祉の向上事業
- ・他地域との交流推進事業
- ・その他人材育成に必要な事業

※自ら新たに取組む事業が対象
※国・県の補助を受けているまたは受けようとしている事業は応募不可

■助成金額

助成金支給対象経費の3分の2以内（1事業100万円を限度）

■申し込み期限 2月14日（火）

■申し込み・問い合わせ

地域振興課 ☎73・3013

税務課からのお知らせ

2月は 固定資産税（第4期分）
国民健康保険税普通徴収（第8期分）
介護保険料普通徴収（ 〃 ）
後期高齢者医療保険料普通徴収（ 〃 ）
の納付月です。

口座振替日 および 納期限

2月29日（水）

☆納期限内に納めましょう。

■督促手数料■

地方税法では、納期限までに納付がなかった場合は「納期限後20日以内に督促状を発しななければならない」ことになっています。市では、このことを受けて督促状を発送し、条例により督促手数料を徴収することと定めています。

☆市税等の納付は便利な口座振替をご利用ください。

▶問い合わせ 税務課 ☎73-3006

宝くじの助成金で整備

財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業により、宝くじの助成金を受けて、三野町の坊之前自治会は、自治会場を建設しました。



▶問い合わせ 総務課 ☎73-3000

平成24年度 農業委員会委員選挙人名簿 縦覧のお願い

選挙人名簿の正確を期すため、平成24年度農業委員会委員選挙人名簿の縦覧を行います。登録されているかどうか、耕作面積等に誤りがないか等の確認をする人は、下記の期間内に必ずお申し出ください。選挙人名簿に登録されていないと投票やリコール請求ができなくなります。

縦覧期間 2月23日（木）～3月8日（木）の15日間
午前8時30分～午後5時

縦覧場所 三豊市選挙管理委員会事務局（総務課内）

▶問い合わせ 三豊市選挙管理委員会 ☎73-3000

相 談

弁護士との多重債務者無料相談会

- 日 時 2月28日(火) 午後1時～3時
- 場 所 山本町農村環境改善センター
- 相 談 1人30分 4人まで(要予約)
- 申し込み期間 2月14日(火)～21日(火)
- 申し込み・問い合わせ 福祉課 ☎73・3015

若者自立支援相談

(さめき若者サポート ステーションの出張相談)

- 日 時 2月22日(水) 午前10時～午後4時
- 場 所 豊中町保健センター
- 相談内容 就職支援相談・キャリアカウンセリング
- 対象 15歳からおおむね39歳までの人またはその家族
- 問い合わせ 商工観光課 ☎73・3042
サポートステーション ☎0877(58)1080
- 精神保健相談
- 日 時 〔中高年うつ・認知症相談〕(要予約)
2月6日(月)・3月5日(月)

午前11時～正午

【思春期相談】(要予約)

2月13日(月) 午後2時～4時

【心の健康相談】(要予約)

2月22日(水) 午後2時～4時

■ 場 所 西讃保健福祉事務所

■ 申し込み・問い合わせ 西讃保健福祉事務所

☎25・2052

ナースバンク・サテライト相談

- 日 時 2月16日(木) 午前10時～午後3時
- 場 所 観音寺公共職業安定所
- 対 象 就職先を探している看護職
卒業見込みの看護学生
看護職員を雇用したい施設など
- 内 容 看護協会職員による就業相談など
- 問い合わせ 県ナースセンター
☎087(864)9075

香川求職者総合支援センター 出張相談

- 日 時 2月15日(水) 午前10時～午後5時
- 場 所 高瀬町農村環境改善センター
- 内 容 生活支援策の利用など
- 問い合わせ 香川求職者総合支援センター
☎080(3923)8609

全国一斉！法務局休日相談所

- 日 程 2月12日(日) 午前10時～午後3時
- 場 所 観音寺市立中央図書館
- 内 容 困りごとに関する相談
- 問い合わせ 高松法務局
☎087(821)6342

講座・教室

人権講演会「こけ枝の ほのぼの人権」

- 日 時 3月10日(土) 午後1時30分～3時
- 場 所 市民交流センター
- 講 師 桂 こけ枝 氏
- 問い合わせ 豊中町公民館 ☎62・1155
仁尾町公民館 ☎56・9565

統合失調症家族教室

- 日 時 2月8日(水) 午後1時30分～3時30分
- 場 所 西讃保健福祉事務所
- 対 象 統合失調症の人の家族
- 内 容 家族の接し方ほか
- 問い合わせ 西讃保健福祉事務所
☎25・2052

三豊総合病院2月の健康教室

- 【食べて治してハッピーライフ】
(テーマ) 転ばない体づくり①
- 日 時 2月10日(金) 健康講座
午後2時～3時30分
- 2月24日(金) 調理実習
午前10時～正午
- 【腎臓病教室】
- 日 時 2月16日(木) 午後3時30分～5時
- 【夜間糖尿病教室】
- 日 時 2月9日(木) 午後6時～7時
- ※各教室とも事前予約が必要
※調理実習は実費600円が必要
- 申し込み・問い合わせ 三豊総合病院健康管理センター
☎52・2726

イベント

上映会

- 日 時 2月4日(土) 午後1時30分開演
- 場 所 仁尾町文化会館
- 内 容 99歳の詩人「柴田トヨ」
「心を救う言葉」
- 定 員 250人
- 問い合わせ 仁尾町図書館 ☎56・9565

三豊市市民交流センター 完成記念カラオケ大会

- 日 時 2月19日(日) 午後1時開演
- 場 所 市民交流センター
- 出演者 各町の予選を通過した35人
- 問い合わせ 三豊市公民館 ☎62・1156

池原昭治 宅配童絵展

- 展示期限 3月11日(日)まで(月曜休館)
- 場 所 財田町公民館
- 内 容 まんが日本昔ばなしの原画作家
で香川のふるさとの風景等20点
- 問い合わせ 財田町公民館 ☎67・0108

しおり作り

- 日 時 2月24日(金) 午後1時30分～3時
- 場 所 仁尾町文化会館
- 定 員 先着20人
- 申し込み期限 2月12日(日)
- 申し込み・問い合わせ 仁尾町図書館 ☎56・9565

大人のためのおはなし会

- 日 時 2月12日(日) 午後1時30分～2時30分
- 場 所 仁尾町文化会館
- 内 容

大人のための絵本の読み聞かせ

や手話ソングなど

■ 問い合わせ 仁尾町図書館 ☎56・9565

スターウォッチング「冬の星座観察」

- 日 時 2月26日(日) 午後7時30分～9時
- 場 所 山本町生涯学習センター
- 内 容 ビデオ学習の後、ふれあい公園
で観察
- その他 小学生以下は保護者同伴
雨天時はビデオ学習のみ
- 問い合わせ 山本町公民館 ☎63・1041

その他

自治会集会所 建設事業費補助制度のお知らせ

- 自治会集会所の建築に対し、補助制度があります。
- 補助率 補助対象経費の3分の1以内
- 補助金限度額 新築 最高500万円まで
増築 最高100万円まで
改修 最高100万円まで
既存建物の購入 最高500万円まで
- ※経費が100万円未満は補助対象外
- 問い合わせ 総務課 ☎73・3000

平成23年度 明るい選挙啓発ポスター入選作品展

市内の小学生から高校生の明るい選挙啓発ポスター入選作品100点を展示します。ご家族そろってご覧ください。

- 日 時 2月10日(金)～20日(月) 午前9時～午後6時
※但し14日(火)は休館
- 場 所 マリンウェーブ



▶問い合わせ 三豊市選挙管理委員会 ☎73-3000

心温まる贈りもの (12月受付分)

このたび、次の皆さまより善意のご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略・受付順)

社会福祉協議会へ

森 糸	繁 一	豊中町	綾 部	英 光	三野町
横 関	慶 久	三野町	軽 部	美 智	高瀬町
安 藤	臣 料	三野町	竹 崎	花 子	詫間町
神 原	道 央	豊中町	続 木	秀 明	詫間町
小 野	芳 宣	高瀬町			
高野山真言宗香川青年教師会					詫間町
上高瀬小学校児童会					高瀬町
前田児童館					高瀬町
たかせ人権福祉センター文化祭実行委員会					高瀬町
ふれあいパークみの					三野町
みとよ未来技術基金へ					詫間町

三豊市の人口 平成24年1月1日現在 ()内は前月比

世帯数	22,930	世帯 (-13)	男	32,262	人 (-42)
総人口	67,752	人 (-63)	女	35,490	人 (-21)

※香川県人口移動調査による

三豊市ボランティアスクール

- 日 時 2月25日(土) 午後1時30分～3時
- 場 所 市民交流センター



- 対象 ボランティア活動を行っている人、活動に興味のある人、参加を希望する人
- 講師 NPO法人 いのちの応援舎
理事長 山本 文子 氏
- 演 題 輝くいのちのために

▶問い合わせ 三豊市社会福祉協議会 ☎63-1014

～地域で取り組む～ 野生獣被害対策研修会

- 日 時 3月9日(金) 午後1時30分～4時
- 場 所 J A香川県 豊中本山支店
- 対 象 獣害対策に関心がある農業者、農業関係機関等
- 講 師 愛媛大学農学部准教授 武山 絵美 氏

▶問い合わせ 西讃農業改良普及センター ☎62-3075

消防だより 山火事を防ぎましょう

- 山火事は発生させないことが最も大切です。
- ①枯草などのある場所では、たき火をしない。②たき火の場所を離れる時は、完全に消火する。③風が強い時や空気が乾燥している時は、たき火や火入れをしない。④火入れの許可は必ず受ける。⑤火遊びはしない。

▶問い合わせ 三観広域北消防署 ☎72-2119

就農相談 三豊市担い手育成総合支援協議会事務局 ☎62-3075
対象は、新規就農予定者・就農5年以内の農業者（要予約）

日 程	時 間	場 所
22日(水)	13:00～16:00	西讃農業改良普及センター
23日(木)		
24日(金)		

農事相談 農業委員会 ☎73-3046

日 程	時 間	場 所
1日(水)	13:30～16:00	仁尾庁舎
3日(金)		財田庁舎
7日(火)		詫間福祉センター

知的財産・技術相談 商工観光課 ☎73-3042
登録商標や企業・技術紹介の相談（要予約）

日 程	時 間	場 所
14日(火)	9:30～15:00	豊中町保健センター

休日当番医

日 程	医療機関名	市町名	電話番号
5日(日)	藤田脳神経外科医院	高瀬町	72-1135
	たしろ医院	観音寺市	25-8413
11日(土)	石井医院	高瀬町	73-6100
	羽崎病院	観音寺市	25-3382
12日(日)	高井医院	山本町	63-2041
	クリニック池田	観音寺市	23-1500
19日(日)	みずた内科	詫間町	83-7218
	西山整形外科医院	観音寺市	25-0107
26日(日)	森川整形外科病院	高瀬町	72-5661
	富田内科医院	観音寺市	24-0180
3月4日(日)	大西医院	山本町	63-2081
	細川整形外科医院	観音寺市	25-4290

休日当番医 歯科

日 程	医療機関名	市町名	電話番号
5日(日)	かもだ歯科医院	観音寺市	23-3020
12日(日)	中西歯科医院	高瀬町	72-6057
19日(日)	よしだ歯科クリニック	観音寺市	25-8773
26日(日)	まなべ歯科医院	豊中町	62-6480
3月4日(日)	中島歯科医院	観音寺市	25-3069

※休日当番医は、都合により変更になることがあります。

行政相談 総務課 ☎73-3000または各支所

日 程	時 間	場 所
1日(水)	10:00～15:00	豊中庁舎
	13:00～15:00	三野町社会福祉センター
6日(月)	13:15～16:00	財田庁舎
13日(月)	10:00～15:00	高瀬町農村環境改善センター
	13:00～15:00	山本庁舎
14日(火)	13:00～16:00	詫間福祉センター
15日(水)	10:00～15:00	仁尾庁舎

人権相談 人権課 ☎73-3008または各支所

日 程	時 間	場 所
1日(水)	10:00～15:00	山本町農村環境改善センター
		豊中庁舎
2日(木)		財田庁舎
8日(水)		詫間福祉センター
13日(月)		高瀬町農村環境改善センター
15日(水)		三野町社会福祉センター
20日(月)		仁尾庁舎

職業相談 上高野文化センター ☎62-2377

日 程	時 間	場 所
13日(月)	10:00～11:30	上高野文化センター

健康相談 健康課 ☎73-3014
血圧測定・尿検査・健診結果・生活習慣病予防や禁煙等の相談

日 程	時 間	場 所
2日(木)	9:30～11:00	詫間福祉センター
8日(水)		山本町保健センター
10日(金)		豊中町保健センター
16日(木)		財田町国保高齢者保健福祉支援センター
20日(月)		三野町保健センター
21日(火)		仁尾町福祉会館
22日(水)		高瀬町公民館

※ ☐ は管理栄養士による栄養相談もあります（要予約）

こころの健康相談 福祉課 ☎73-3015

日 程	時 間	場 所
3日(金)	10:00～11:30	詫間福祉センター
27日(月)	13:00～15:00	高瀬町農村環境改善センター

乳幼児健診 子育て支援課 ☎73-3016

対 象	日 程	受付時間	※場所
4・10カ月児健診 (平成23年10月生まれ) (平成23年4月生まれ)	21日(火)	13:30～13:50	豊中
	28日(火)		三野
1歳6カ月児健診 (平成22年7月生まれ)	2日(木)		豊中
	9日(木)		三野
3歳児健診 (平成20年7月生まれ)	16日(木)		豊中
	23日(木)		三野

◎乳幼児健診は子どもの成長・発達を知る節目の時期に実施しています。
ぜひ、この機会に受けましょう。

プレママひろば 子育て支援課 ☎73-3016

対 象	日 程	受付時間	※場所
16週以降の妊婦 (希望者は8～21日までに 電話でお申し込みください)	22日(水)	9:15～9:30	高瀬 支援セ

パパママ教室 子育て支援課 ☎73-3016

対 象	日 程	受付時間	※場所
16週以降の妊婦と夫 (希望者は13～24日までに 電話でお申し込みください)	26日(日)	9:15～9:30	三野

離乳食講習会 子育て支援課 ☎73-3016

対 象	日 程	受付時間	※場所
1歳未満児を持つ家族 (希望者は15～29日までに 電話でお申し込みください)	3月7日 (水)	10:15～10:30	三野

◎託児あり（申し込み必要）

楽しい歯みがき教室 子育て支援課 ☎73-3016

対 象	日 程	時 間	※場所
10カ月～3歳(市内在住)の 子どもと保護者 ※申込不要	6日(月)	10:00～	高瀬 支援セ

◎持参物 歯ブラシ、コップ

児童相談 子育て支援課 ☎73-3016

対 象	日 程	受付時間	※場所
18歳未満の子どもとその保護者 (希望者は27日までに電話で お申し込みください)	28日(火)	13:30～15:00	豊中

◎県の専門員が相談に応じます。

※場所 豊中…豊中町保健センター
三野…三野町保健センター
高瀬支援セ…高瀬地域子育て支援センター

遊ビリテーション 地域包括支援センター ☎73-3017

日 程	時 間	場 所
2日(木)	10:00～11:30	山本町保健センター
	13:30～15:00	財田町国保高齢者保健福祉支援センター
13日(月)	10:00～11:30	市民交流センター
	13:30～15:00	高瀬町農村環境改善センター
14日(火)	10:00～11:30	仁尾町文化会館
15日(水)	10:00～11:30	マリンウェーブ
	13:30～15:00	荘内自然休養村センター
17日(金)	10:00～11:30	三野町保健センター
28日(火)	10:00～11:30	二ノ宮地区農業構造改善センター

脳きらり教室 地域包括支援センター ☎73-3017

日 程	時 間	場 所
8日(水)	13:30～15:00	マリンウェーブ
14日(火)		高瀬町農村環境改善センター
17日(金)		財田町国保高齢者保健福祉支援センター
21日(火)		市民交流センター
22日(水)		三野町保健センター
24日(金)		山本町保健センター
28日(火)		仁尾町文化会館

高齢者あんしん相談 地域包括支援センター ☎73-3017
認知症や介護に関すること、成年後見制度や高齢者虐待などの相談

日 程	時 間	場 所
6日(月)	10:00～11:00	仁尾庁舎
9日(木)		三豊市役所
10日(金)		三野町保健センター
14日(火)		財田町国保高齢者保健福祉支援センター
15日(水)		豊中庁舎
16日(木)		山本町保健センター
22日(水)		詫間福祉センター

精神デイケア 福祉課 ☎73-3015

日 程	時 間	場 所
2日(木)	10:00～11:30	高瀬町公民館（さくらの会）
9日(木)		
16日(木)		
21日(火)	13:30～15:30	詫間福祉センター（みつより会）

山本保育所

心も体もたくましく

みんなの

みとよ

詫間中学校

AKB351



▲寒さなんか、
へっちゃらだ!!



豊かな自然環境を生かした所外保育や年齢に合わせた運動遊びを積極的に取り入れ、体力づくりに取り組んでいます。

一つは子どもたちがおじいちゃんやおばあちゃんの手作りのわら草履で土踏まずの形成に挑戦中！神田地区の安藤悦子さんを講師に迎え、わら草履を作ったおじいちゃんやおばあちゃん。「孫にプレゼントしたい」「孫のためやったら、何でもできるで」と大はりきり。色とりどりのかわいい草履が完成し、子どもたちは喜んで使っています。

次は寒さにも負けず、毎日、マラソンにチャレンジしています。3歳以上児は保育所周辺の田んぼ道を約1km走ります。駅伝も楽しみのひとつで子ども同士で工夫しながら作戦を立て、みんな協力して最後まで走りぬきます。保護者や地域の人たちからも温かい声援を受け、生き生きと心も体もたくましく育っています。



▲校門に響く元気な「おはよう」の声

これまでも「あいさつボランティア」として自主的に校門であいさつ運動を行う生徒がいましたが、学校全体の取り組みに広げようと、生徒会が「あいさつコンテスト」と題して部活動ごとの参加を呼びかけました。すると、7時30分には大勢の生徒が校門に整列し、大きな声が響き合う風景が見られるようになりました。多い日には200人を超える生徒が参加しました。

これからも、人気アイドルグループAKB48に負けない元気を、詫間中学校から発信していきたいと思っています。

27 2012年2月 広報 みとよ 28 広報 みとよ 2012年2月 26

文化財を訪ねて 26



▲小蔦島遠景



▲小蔦島貝塚出土遺物（仁尾町文化会館に展示中）

こ った じま か い づ か

小蔦島貝塚 ～燧灘に浮かぶ縄文時代の貝塚～

小蔦島貝塚は、仁尾町の沖合約1 kmに浮かぶ小蔦島に所在します。貝塚は島の東部に広がり、舌状に突き出た平地に位置しており、昭和33年に県指定史跡になりました。

貝塚とは食用された貝が廃棄された場所で、動物の骨や土器、石器なども捨てられていた縄文時代のゴミ捨て場のことです。小蔦島貝塚は縄文時代のはじめごろ（およそ八千年前）の遺跡であり、県内では最古級の貝塚です。大正・昭和を通して、数回にわたって発掘調査が行われ、ハマグリやアサリなどの貝殻をはじめとし、さまざまな種類の土器やおもり、^{やじり}鏃といった石器が出土しました。土器はいわゆる^{かえん}火焰土器のような装飾性の高い、華やかなものではなく、模様のないものやだ円などの模様が彫られた短い棒を転がして施文されているシンプルなものが出土しています。ほかに、鹿や猪といった獣骨の出土も確認されています。

このように遺物は豊富に出土しましたが、住居などの痕跡は見つかっていません。

縄文時代のはじめごろの遺跡は県内では数が少なく、特に西讃地域においては小蔦島貝塚しかありません。当時の小蔦島は、現在より海面が低く、四国と陸続きであったため、人々は海の幸と山の幸を採集しながら生活を営んでいたと思われます。小蔦島貝塚以降、市内の縄文時代の遺跡は仁尾町や詫間町の荘内半島といった、沿岸部に多くみられます。

最近の研究では、縄文時代はさまざまな食料に恵まれ、各地で交易が盛んに行われていた非常に活発な時代であったと考えられています。小蔦島貝塚は、当時はただのゴミ捨て場でしたが、現在では縄文時代の人々の生活を伝える大変重要な遺跡となっています。

<生涯学習課>

今月の市民力

自分たちの手で楽しく思い出深い成人式にしたいと、会議や打ち合わせを重ね、準備を進めてきた16人の運営スタッフ。式当日は、晴れ着姿の新成人であふれる会場で、受け付けをしたり式典の司会進行を行うなど、裏方として成人式を支えました。

人生の節目となる成人式を無事終え、自分たちで式を運営するという目標をやり遂げたことが、大きな自信につながったことでしょう。

